

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【高砂小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>算数の図形領域における正答率が低い。<指導上の課題>児童が反復・習熟に取り組む時間の設定が不十分である。 <学習上の課題>自己の学びをメタ認知し、次の学習につなげていく力が弱い。<指導上の課題>児童が自らの学びを振り返る時間を確保できていない。	「ドリルパーク」「スタディサプリ」等を活用し、反復・習熟に取り組む【毎授業で習熟の時間を設定】。 授業中に児童が自らの学びを振り返る時間を設定し、次の学習に生かせるようにする。【毎時間設定】また、児童の振り返りをもとに、児童にとって必要感のある課題を設定したり、児童が主体的に課題に取り組む場を設定する【毎授業で実施】
思考・判断・表現	<学習上の課題>複数の資料を関連付けて考察する問題の正答率が低い。<指導上の課題>児童が複数の資料から自己の考えを構築する時間の設定が不十分である。 <学習上の課題>自己の考えを伝え合う活動に対して意欲的でない場面が見られる。<指導上の課題>協働的な学びを通して、学びが深まるような授業が少ない。	児童が作品やレポートを作成する際に、複数の資料やデータをもとに自己の考えを構築できるようにする。【学期ごとに単元を決めて実施】活動の中にICTの効果的な活用を位置付け、協働的な学びを通して自己の考えを表現したり、深めたりすることができるようにする。【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】。

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)